

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立( 富塚中 ) 学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から学校基本方針について丁寧な説明があり、学校教育目標や目指す生徒像への理解が深まった。
- 校長先生からの丁寧に作り上げられた学校経営構想の資料を基に話し合い、目指す学校像を共有することができた。
- 授業の充実や、教職員への求める姿を実現するための内容(構想)が明確に分かり、会議出席者皆で熟議することができた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 地域に開かれた学校運営を学校長が代わっても継続されており、方向性がずれしていないので、グループディスカッション時に意見を提案しやすく、熟議を円滑に進めることができた。
- 2回に渡り、「持続可能な富中コミスク」について話し合い、活動の現状、展望について先生方と委員で意見を交わし、コロナ禍以前の良いものは残し、一方で現状に合わせて変化していくこともありだという話を聞き、生徒にとってより良い形にしていくことが大切であると再認識できた。
- 協議会の中で、この4年間で行ってきた活動を文字と映像で見たことで、具体的な話し合いができ、より現実的な視点で熟議ができた。
- 地域への要望と地域の要望の繋がりを協議し、地域活動に反映させ、学校目標の地域へ展開する必要性を感じた。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- コロナ禍だからこそ、ICTを活用したコミスクを展開させると、もっと幅広いキャリア教育が発展させられるのではないかと思う。
- 地域課題の「高齢化への取り組み」を共有してもらうために、「社会福祉と災害対応」を模索したい。
- 富塚の地域性と現状に生きる生徒の成長に合わせたコミュニティ・スクールを目指し、学校、家庭、地域が共に成長できるようにビジョンをもっと広く共有できたらと思う。
- 「持続可能な富中コミスク」について学校側と委員で熟議をすることで、互いの情報共有ができた。来年度も富塚中学校の良さを生かしながら、地域で子ども達が活躍できる場を持てるよう、協議会を通して学校との連携を深めていきたい。
- 富塚中学校のコミスクに関しては、学校の協力体制が整っているので、次はどうしたいかという学校側のニーズを明確に提案し、発信していただくことで、より充実した熟議ができると思う。